



令和6年12月24日
京都市中京区役所
(担当 地域力推進室 電話 075-812-2421)

令和6年度 みつばち市民講座を開催！

中京区役所では、緑豊かな中京区を目指し、緑化の推進に取り組む「京都みつばちガーデン推進プロジェクト」を展開しています。

この度、2名の専門家・養蜂家の貴重な講演、みつろうを使ったワークショップを通して、ニホンミツバチの生態、そしてミツバチがもたらす植物や地域社会への影響を探求する「みつばち市民講座」を開催します。

当日は、同志社大学政策学部小谷ゼミ3回生（ZERO WASTE 推進チーム）の全面協力のもと作成した「中京 de 量り売りまち歩きマップ」の取組発表も行います。

まちなかの緑化や環境に配慮したライフスタイルについて、一緒に考えます。

1 日時 令和7年2月9日（日）午前9時30分～正午（受付：午前9時15分～）

2 会場 中京区役所4階 第1会議室
(〒604-8588 中京区西堀川通御池下る西三坊堀川町 521)

- 3 内容**
- (1) ミツバチや環境保護に関する講演（出演者プロフィールは別紙参照）
 - ・「ニホンミツバチ養蜂に関する最近の話題」
坂本 文夫 氏（京都ニホンミツバチ研究所 所長／京都先端科学大学 名誉教授）
 - ・「養蜂家の日常・ニホンミツバチ養蜂への想い」
岡野 春菜 氏（京都産ニホンミツバチの蜂蜜店「八助」 代表）
 - ・「中京 de 量り売りまち歩きマップ作成について」
ZERO WASTE 推進チーム（同志社大学政策学部小谷ゼミ3回生）
 - (2) ニホンミツバチのみつろうを使ったワークショップ／区役所屋上庭園の見学
 - ・「みつろうボディークリーム」及び「みつろうリップクリーム」製作
 - ・「屋上庭園の見学」
- ※ みつろうとは、ミツバチが巣を作る材料として腹部から分泌するろうのこと。

【ワークショップのイメージ】



【屋上庭園】



4 参加費 無料

5 対 象 どなたでも参加できます。

※ ただし、2名1組（夫婦・親子・友達などの2名）でのお申込みとなります。

※ 小学生以下の方は、保護者の方と一緒に申込みをお願いします。

6 定 員 20組・40名（抽選）

7 申込方法 令和7年1月7日（火）～1月27日（月）に、中京区役所ホームページの参加募集申込フォーム又は電話にてお申込みください。

【申込フォーム】

https://sc.city.kyoto.lg.jp/multiform/multiform.php?form_id=9264

抽選の結果は1月28日（火）以降にメールにて通知します。



8 その他 ワークショップで製作した作品は、1組で1つずつお持ち帰りいただけます。

ワークショップで使用するみつろうには、そばなどのアレルギー物質が入っている可能性があります。

区役所4階から屋上への移動は階段のみとなります。

9 問合せ 中京区役所地域力推進室企画担当

電話：075-812-2421 FAX：075-812-0408

メール：nakagyo@city.kyoto.lg.jp



「京都みつばちガーデン推進プロジェクト」とは？

区民ボランティア「京（みやこ）・みつばちの会」、京都先端科学大学、中京区役所の三者が協働して、まちなかの緑化を推進するために、平成23年から始めた取組です。

中京区役所の屋上庭園でニホンミツバチを飼育し、自然の豊かさを教えてくれるミツバチとの「共生」という考え方から、まちなかの緑化を呼びかけ、緑豊かなまちを目指しています。

(講師のプロフィール)

さかもと ふみお 坂本 文夫 氏 (京都ニホンミツバチ研究所 所長／京都先端科学大学 名誉教授)

大学院修了後、民間企業にて医薬品の研究開発業務に従事。2006 年から京都学園大学 (現 京都先端科学大学) バイオ環境学部に勤務。

2011 年から「京都みつばちガーデン推進プロジェクト」に関わる。2014 年に大学発ベンチャー、京都ニホンミツバチ研究所を設立し、分蜂誘引剤「待ち箱ルアー」の製造・販売やニホンミツバチ関連の研究・情報発信を行っている。



おかの はるな 岡野 春菜 氏 (京都産ニホンミツバチの蜂蜜店「八助」 代表)

約 10 年前、父が趣味で養蜂を始めたことをきっかけに、日本固有種であるニホンミツバチの愛らしさに魅了されました。同時に、その個体数が減少している現状を知り、大きな衝撃を受けました。

ミツバチは花の受粉を助け、植物の繁栄や野菜・果物の実りに大きく貢献する、私たちの生活に欠かせない存在です。この現実を目の当たりにしたことで、ミツバチや環境保護の重要性を広く伝えたいという思いが芽生え、2019 年より養蜂家として本格的に活動を開始しました。



ZERO WASTE 推進チーム (同志社大学政策学部小谷ゼミ 3 回生)

【小谷ゼミ第 14 期生のマーク】

小谷ゼミでは、環境やまちづくりの課題について、リサーチに加えフィールドワークによる現状理解を大切にしており、学んだ知識・経験を活かして立案した企画を地域の中で実践しています。

今回は、中京区役所と連携し、必要な分だけ無駄なく購入でき、食品ロスや容器・包装ごみの削減につながる量り売りをテーマに、「中京 de 量り売りまち歩きマップ」を作成しました。

(詳細)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/nakagyo/page/0000334155.html>

